

マイクロマシンセンター/ BEANS研究所展示ブースのご紹介

1. マイクロマシンセンターブース

(1) 20周年特別企画ブース

マイクロマシン/MEMS展は今回で第20回という節目を迎えます。マイクロマシンセンターでは、それを記念して、第1回「産業用マイクロマシン展」から世界有数の総合イベント「マイクロナノ2009」にまで成長してきた歴史を振り返り、代表的なトピックスをご紹介します。

(2) MemsONEブース

MemsONEの本格的な普及活動を開始して2年目に入り、本年2月には解析力や操作性・安定性がより向上したバージョン2.0をリリース致しました。

今回の出展では、より一層の普及促進を図るため、ライセンス数限定の無償貸し出し・商談コーナーを設置するとともに、ビデオ放映、デモなどによる詳細なご紹介を行います。

(3) MEMSモールブース

MEMSに関する製品や技術をWeb上で紹介するMEMSモールに関する展示を行います。昨年10月にMEMS協議会メンバー企業を参加対象として開設したMEMSモールは本年4月より一般企業にも有料にて参加いただけます(マイクロマシンMEMS展の出展企業は優遇措置があります)。ブースでは、MEMSモールの内容や参加企業、参加方法についてパネルにて展示するほか、モールを体験できるパソコンを設置いたします。

(4) MEMSファンドリーネットワークブース

MEMS協議会メンバー企業によるMEMSファンドリーネットワークの全容と、製造設備を持たないユーザーでも容易にMEMS製作に取り組んでいただけるよう開設したWeb上試作受付窓口「MEMStation」を紹介します。

(5) 標準化ブース

MEMS分野の標準化の状況を紹介し、マイクロマシンセンターでは、MEMS分野の国際標準化活動を、より戦略的に進展させるため、MEMS標準化ロードマップを策定し、これに沿った標準化活動を展開しています。これまでに提案・成立したMEMSの用語と定義、MEMS薄膜材料の引張試験法、引張試験のための標準試験片、MEMS薄膜材料疲労試験法の他、現在審議中の国際規格案、現在開発中の国際規格案について内容を紹介し、

2. BEANSブ - ス

昨年7月のプロジェクト開始以来、BEANS PJは一

年が経過しました。今回の出展は国内外のMEMS関係者が大勢来訪する公開の場への本格的デビューとなります。(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)とBEANS研究所の共催です。

今回の出展はこの一年間の活動の成果発表の場としての意義がありますが、それ以上にBEANS PJそれ自体を広く認知していただき、更に、参加している研究員のひた向きな熱意の一端を来場者に伝えるべく展示内容を構成しています。

BEANS PJのシンボルの豆とグリーンの色調でゾーニングされたブースはBEANS PJの全体像を紹介する緑色の5台のメッセージスタンドに囲まれています。メッセージスタンドで通路に面する側にはBEANS本部の全体紹介、内側にはプロジェクトに参画する研究員全員のプロフィールを中心に九州、滋賀、つくば、駒場にある各センターの位置づけを紹介します。ブース内壁にはポスターと展示物を配置して、特に各センター(Life BEANS、LifeBEANS九州、3D BEANS、3D BEANS滋賀、Macro BEANS)のアピールポイントと取り組みを紹介します。

そして、なんとと言っても今回の展示の目玉はブース中央スペースに配置されたいくつかの展示物群です。多くの来場者がその周囲を囲むように配慮されたそれらの展示物は、ポスターなどでは説明が困難な微細加工プロセスの技術内容や、本年1月と6月にテレビや新聞発表されて興味を持って見に来られる人が多いことが予想されるバイオ関係の展示物、そして日経マイクロデバイス7月号に紹介された大面積成膜や繊維状ナノ構造関連の展示物があります。そこではMEMS関係者には新鮮な驚きを提供することになる実験用機織り機も登場の予定です。

BEANS PJは次世代のデバイス実現に向けての製造プロセス技術開発が本来のミッションです。実際に日夜懸命に取り組んでいるのは、地味な基礎的なプロセス開発ですから、皆がワクワクするような未来デバイスを紹介することは本来の目的ではありません。従って本来は地味な技術説明ポスターになってしまっていますが、展示会は見ただけかなければ何も始まりません。そこで、極めて重要な、しかし本来は目に見えにくいプロセス開発を「見える化」させることに注力しました。無駄な努力に終わったか、或いは大いにその意図が伝えられたか、ぜひご自身の目で確認いただければ幸いです。

それから展示内容と連動しまして「第3回BEANS PJセミナー」がブースの隣の特設会場にて7月30日の午後に開催されます。BEANS プロジェクトの全貌がはじめて明かされるセミナーですのでこれにも是非ご参加いただきたいと願っております。